

病院	東札幌病院
----	-------

《担当者名》 歯科口腔外科部長 / 水越 孝典 指導責任者 歯科衛生士 / 安田 友美

【概要】

顎顔面、口腔疾患をもつ患者に対し、身体的、精神的ケアを出来る様チームアプローチの一員としての自覚を持ってもらう。

【学修目標】

病院内衛生士として、他科看護師と対等にコミュニケーションがとれること。
 歯だけを見る衛生士ではなく、全身の中の口腔疾患という目で患者をみれること。
 衛生士の仕事はブラッシング指導だけと思わず、口腔機能の維持・改善に携わるものである。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
	外来 1. 術後患者に対し 2. 新患に対し 3. 外来手術に対し 入院 口腔外科入院患者 1. 口腔がん 2. 手術症例に対し 3. その他 他科入院患者 1. がん 2. 嚥下障害患者	患者の不安などに対し、適切な対応 的確なアナムネーゼ 器具の準備、後片付け 介助 薬の説明 がんの病態について ・がんの治療について ・がん患者の食事・生活指導 ・がん患者のメンタルケア（傾聴） ・がん患者の口腔ケア ・ホスピスケア 手術、手技 ・術前・術後管理、ケア ・メンタルケア 化学療法、放射線療法前からの口腔ケア ・ホスピス患者の口腔ケア、食事指導 口腔機能の評価 ・口腔機能リハビリテーションの適否 ・口腔機能リハビリテーションの実際	水越 孝典 安田 友美

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

知識・技術...診療の補助・介助を通して評価する。
 実習態度...実習期間中の患者への対応・礼儀・言葉づかい・積極性を総合的に評価する。

身 装...清潔なユニフォーム、頭髪、手指。

上記項目について総合的に判断する。

【教科書】

「専門科目の教科書」

【参考書】

「チームがん医療実践テキスト」 先端医学社 2011年

「よくわかる口腔ケアハンドブック」 金芽堂 2006年

「摂食・嚥下リハビリテーション」 医歯薬出版

「臨床実習帳」

【学修の準備】

- ・口腔の仕組み（解剖・機能）について予習すること。
- ・摂食嚥下のメカニズムについて説明出来る様予習すること。
- ・与えられた課題についてレポートを作成すること。